

小学校入学時にランドセル、中学校入学時に  
自転車購入補助金の支給を 田中紀吉  
教育長 補助制度の新設ではなく、就学援助制度で  
の支援を継続したい

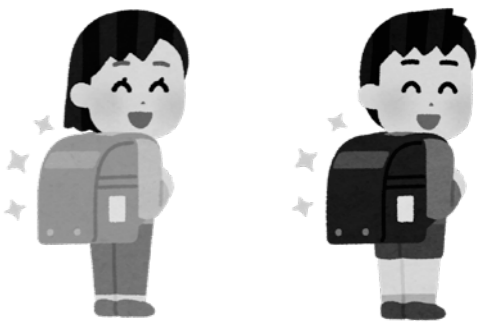


問 小学校でランドセル以外の通学かばんの利用者はいるか。  
答 ランドセル以外の通学かばんの利用者はいない。  
問 学校指定品に通学かばんはなぜないのか。  
答 通学かばんの形式等は、

国等においても特に定めはない。ただし、小学校入学説明会などでは、通学用かばんに「ランドセル」という言葉を用いている場合がある。  
問 一部の自治体で補助金の支給を始めている。支給

を始めるべきではないか。  
答 町では、就学援助支給要綱により、新入学児童生徒学用品費を設け、一人当たり小学校54,060円、中学校60,000円を限度に支給しており、ランドセル、自転車の購入につい

て新たに補助制度を設ける考えはない。  
事業評価制度の導入を  
問 各種事業の評価・検証は誰が、評価一検証を行っているのか  
答 予算編成前に実施しているヒヤリングが、事業評価制度、モニタリング制度に代わるものと考えているので、新たに制度を作る考えはない。



拡幅された大福寺前登城路

記録的短時間大雨情報が発表された場  
合 町長 適切なタイミングで避難行動をとる「自助の  
習慣」を身につける 杉田健司



問 7月12日の大雨時の緊急体制の配備、避難指示発令のタイミング、避難所開設はスムーズに行えたか。  
答 18時35分に災害対策本部を設置し、玉川・都幾川両公民館、せせらぎホールの3箇所の指定避難所を開

設、18時49分に大雨警報、19時20分に土砂災害警戒情報が発令、19時30分に町内全域に対し避難指示を発令し、さらに指定避難所の玉小、玉中、明小、都幾川を開設、延べ141名が避難した。

緊急な対応だったが、町民の皆様、警察署、消防署、消防団、熊谷地方気象台等、様々な関係機関と協力、連携を計り対応出来た。  
問 今後の課題は。  
答 「共助の強化」「自助の習慣」

小倉城の整備状況について  
問 小倉城跡の整備状況は。  
答 平成25年度に策定した小倉城跡周辺整備方針に基づき「埼玉ふるさと創造資金」を活用して、令和3年度は大福寺前登城路拡幅工事、パイオトイレの設置、案内看板、のぼり旗を設置した。令和4年度はハイキングコース案内板、登城路へのウッドチップの敷均し、自生植物であるヤマユリの植栽を行う予定。

子ども医療費無料制度の18歳までの拡充を

野原和夫



町長 令和5年4月1日より開始できるよう準備を始める

子ども医療費無料制度の18歳までの拡充を  
問 無償化を基本とした18歳までの子ども医療費無料制度の拡充を求める。  
答 18歳までの拡充が令和5年4月1日より開始でき

るよう、準備を始める。  
国民健康保険税の均等割所得割の減免を  
問 子育て支援策・出生率の向上を見据えた、未就学児の均等割の減免を願う。  
答 公平な税負担が求めら

れる昨今、町としては国民健康保険制度に基づき、対応して参りたいと考える。  
住みよいまちづくりについて  
問 気候危機問題が深刻である、安心安全を求めた中で災害対策基金創設につい

て何う。  
答 財政調整基金の貯えがあり、埼玉県には県民に対する生活再建の支援制度があることから、災害対策基金の設置は考えていない。  
加齢性難聴者への補聴器購入補助を  
問 14.4%しか補聴器をつけていないと推計もある。補聴器購入補助について何う。  
答 引き続き近隣市町村の動向を注視していく。



三波溪谷の利用・運用について  
町長 川遊びや溪谷の景観を楽しむ来訪者や登山  
ハイキング等の拠点として活用している 岩田鑑郎



問 駐車料金が頻繁に変わるが、誰がどのように決めるのか。  
答 三波溪谷駐車場の管理及び料金設定は、観光協会が行っている。金額については近隣の市町村に所在する同様の駐車料金を参考に

決めたものである。昨年度7月の開始当初は無人運営のため1日1台500円の協力を頂くこととした。  
8月上旬から交通整理員の常備配置、簡易水洗トイレや手洗い用の水道などの環境を向上させ協力金の金額

を1,000円にし、9月以降は無人運営としたため500円に戻している。今年度は、通常時は500円、5月の連休中は1,000円、夏休み期間中の2,000円の料金設定については利用のハイシーズンで

あることから、交通整理員を常備配置することで県道の渋滞を防止すると共に、簡易水洗トイレの増設や着替え用のテントを新たに設置するなど安全面、設備面の充実を図る為の経費を見込んだものと伺っている。また、町内の周遊性を高めるため、協賛の店舗等で利用できる割引パスポートを配布し、三波溪谷以外にも足を運んで頂けるよう地域活性化の取り組みも行っている。